

ミライバレーコンソーシアム 2024年度 活動報告

2025/4/17
第2回ミライバレーコンソーシアム総会詳細資料
2025/4/23
総会后編集



① 本コンソーシアムについて

目的、ビジョン、背景
取り組みテーマ

② 2024年度活動報告

サマリー

活動成果、活動一覧、エビデンス、会計報告、会員一覧
活動トピックス 1～10

③ 2025年度に向けて

活動目標、活動計画、予算計画
[新設]メルマガ登録、お試し会員

① 本コンソーシアムについて

日本型イノベーション・エコシステムの形成と 地方創生を実現

- ・地方がより良くなることを第一に
- ・医療、健康、ライフスタイル等の分野における新しい行政サービスの創造
- ・地域の成長に貢献する産業の創出

我が国全体の社会課題の解決に貢献

- ・地方都市や中山間地域に適用できるソリューションを全国に展開

ミライバレーコンソーシアム

産学官民連携によるイノベーションで地方創生

① 目的

日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現

- ・地方都市が良くなることを第一に !!
- ・医療、健康、ライフスタイル等の分野における新しい行政サービスの創出
- ・地域の成長に貢献する産業の創出

我が国全体の社会課題の解決に貢献

- ・地方都市や中山間地域に適用できるソリューションを全国に展開

② 体制



③ メリット

- ・オープンイノベーションを大学が牽引（国プロジェクトとの連動・連携）
- ・名古屋大学の研究力（医療・健康・ライフスタイル）
- ・テーマのマッチング成立後、自治体との連携
- ・コンソーシアムに参画している産学機関とのつながり

④ 問い合わせ先

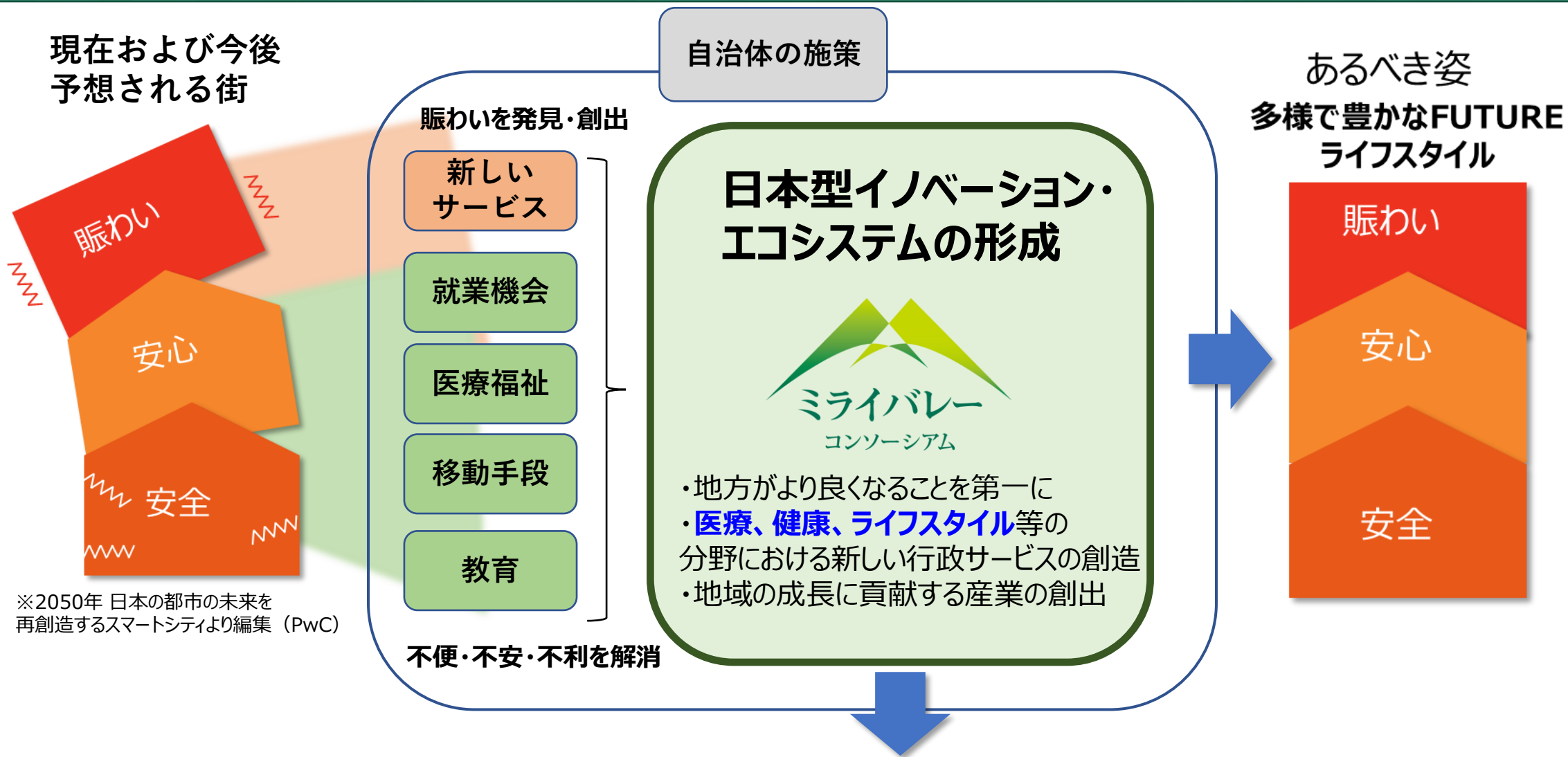
ミライバレーコンソーシアム事務局 OMV@mirai.nagoya-u.ac.jp



<https://mirai.omv.aichi.jp/>



① 本コンソーシアムについて： ビジョン



地方都市や中山間地域に適用できるソリューションを全国に展開

地方が抱える3つの「不」（不便・不安・不利）

5万人以下の小規模地方都市(1191市町村)と大規模都市（100万人以上）(12市町村)比較

就業機会

1/8（商業事業率）

医療福祉

1/2（医師の比率）

移動手段

3.5倍（自家用車依存度）

教育

1/2（教師の比率）

都市部に対し「**就業機会**」「**医療福祉**」「**移動手段**」「**教育**」が不足

小規模地方都市の特性

- ・日本全国の **7 割** の自治体数、**6 割** の国土を占有
- ・高齢化率、自家用車負担率が高い
- ・商業事業率、医師供給率、教師供給率が低い

都市 類型	概要	分析上の定義					全国に占める比率			
		人口	商業 事業 率 (A)	自家用 車負 担 率(B)	医師 供 給 率 (C)	教師供 給 率 (D)	人口	面積	高齢 化率 (年少 率)	自治体 数
小規模 地方都 市	過疎市町村 (大まかな基準) 人口減少率約 20%以上/40 年、高齢者率 35%以上、若 年者比率11% 以下	5万 人 以下	30. 5%	71.3 %	60. 9%	61.7 %	7.3% (928 万人)	51.1% (19073 9km ²)	38.3 % (10.1%)	41.4% (712市 町村)
	地方の郊外 地域 小規 模都市		43. 3%		74. 3%	92.0 %	8.4% (1067 万人)	11.7% (4362 9km ²)	30.2 % (12.4 %)	28.4% (489市 町村)
自家用 車中心 中規模 都市	地方の県庁 所在地 企 業城下町 周辺のベッド タウン等	5~ 100 万人	58.9 %	50% 以上	96.5 %	108.1 %	37.0 % (4697 万人)	35.4% (1320 70km ²)	27.9% (12.5 %)	20.2% (348市 町村)
公共交 通普及 中規模 都市	三大都市圏 近郊のベッド タウン 地方 大規模都市 等			50% 未満			24.0 % (3055 万人)			9.4% (162市 町村)
大規模 都市	政令指定都 市 特別区	100 万人 以上	247. 9 %	18.5 %	130. 4%	122.3 %	23.5 % (2990 万人)	1.7% (6511k m ²)	23.6% (11.9 %)	0.7% (12市 町村)

※[参考] 官民ITS構想・ロードマップ2020（首相官邸）
 (B) 平成22年度国勢調査より引用、
 内閣官房情報通信技術(IT)
 総合戦略室作成

※[参考] 過疎市町村の数、人口・面積
 (令和3年4月1日現在)
 「全国過疎地域連盟」

※[参考] デロイト調査資料 2021/07
 (A) 「人口ひとりあたりの商業年間商品販売」
 全国平均を100とした場合の割合
 (C) 「人口1,000人当たり医師数」
 全国平均を100とした場合の割合
 (D) 「1校当たり小中学校教員数」
 全国平均を100とした場合の割合

地方創生には、
**小規模地方都市の
 環境作り**が必要

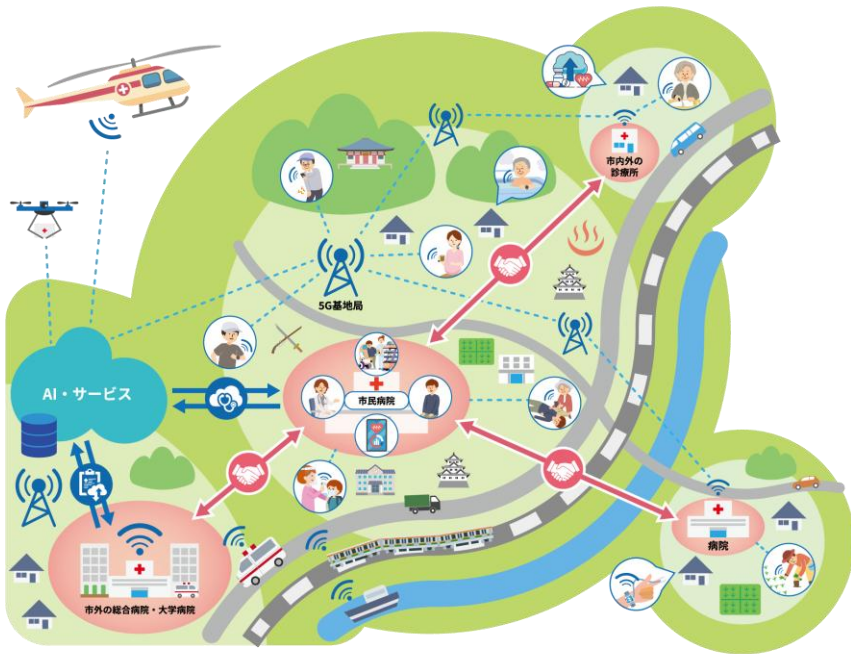
医療福祉

教育

テーマ 1-1

【スマートに繋がる医療】

いつでもどこでもデータを見てもらって安心な医療が受けられる



【名古屋大学】*山本美知郎 教授
大山慎太郎 准教授
【コンソ会員】ケアコム、大成建設、ニプロ、国立がん研究センター
NTTコミュニケーションズ
【自治体】新城市
【助成】健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点(C-REX)

テーマ 1-2

【施設内で健康促進】

施設全体を「ロボット化」し、その補助により自然のうちに、健康的で主体的な行動に変わる

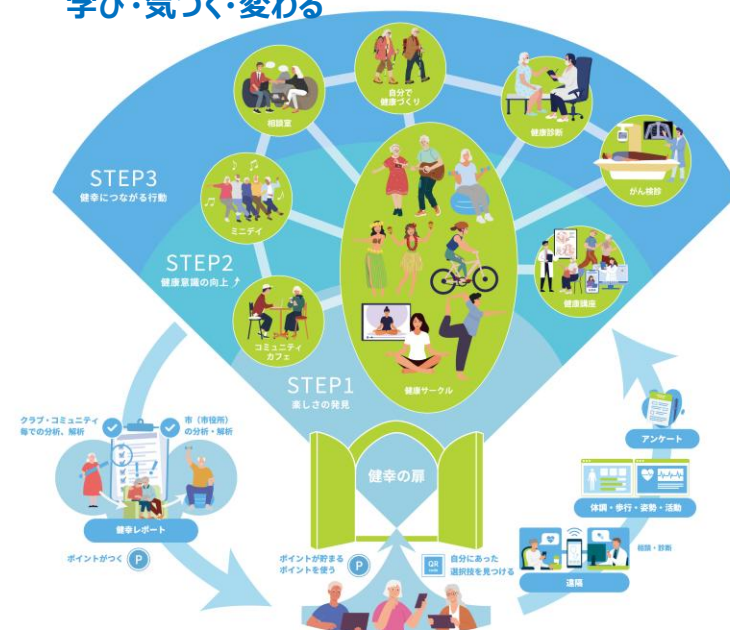


【名古屋大学】*下田真吾 特任教授
平田仁 特任教授
【コンソ会員】豊田合成
【施設】イオンモール Nagoya Noritake Garden
【助成】MOONSHOT 2023-2025
主体的な行動変容を促すAwareness AI ロボットシステム開発

テーマ 1-3

【未来の公民館】

健幸の扉を通じ選択肢を増やし、何より楽しさから健康を学び・気づく・変わる



【名古屋大学】*大山慎太郎 准教授
吉川正 特任准教授
【コンソ会員】
【自治体】新城市
【助成】学内 未来社会創造プロジェクト
(アカデミア組成・課題提案型) 2024

*...PL

① 本コンソーシアムについて： 取り組みテーマ

就業機会

教育

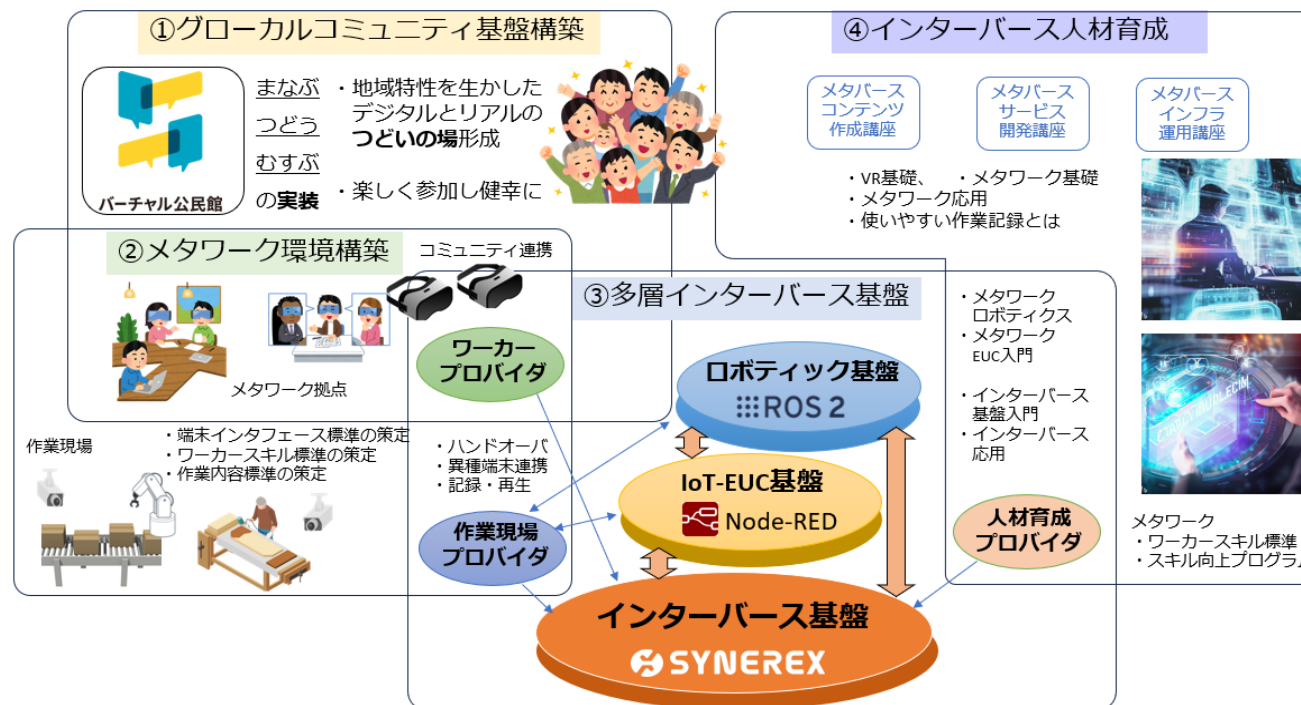
テーマ2-1

【グローバルインターバース基盤】

地域活性化を目的として、地域に「新たな働き場所」としての「メタワーク拠点」を構築

*...PL

地域活性化のためのグローバルインターバース基盤の研究開発



【名古屋大学】*河口信夫 教授

【コンソ会員】TTDC、技研サービス

【自治体】検討中

【助成】戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期 2023-2027

地域活性化のためのグローバルインターバース基盤の研究開発

② 2024年度 活動報告

第2回ミライバレーコンソーシアム総会(2025/4/17) 第1号議案 報告

- ✓ ミライバレーコンソーシアム総会実施(2024/6/18)
23年度事業報告 24年度事業計画承認、役員選任
- ✓ **7法人会員・3個人会員**(2025/4現在)
- ✓ 愛知県 新城市、イオンリタケ(愛知県名古屋市))中心の活動であるが、
今後の活動を踏まえ、**8自治体・1施設とつながり**を持った
→ **10講座 6実証 1出展 1外部資金**
論文11、発表5、特許4、受賞2
- ✓ 名大より社会課題から
「ゆるやかなつながりによる社会参加寿命延伸拠点」企画・提案
「ソーシャルナッジとトラストにより健康で生きがいに満ちた社会を創造」企画・提案
⇒ **産学官民ワークショップで共有・議論し、テーマの磨き込みを実施**

基本活動項目の継続実施目標	KPI	結果	判定	特記事項
自治体の想いと連動したプロジェクトの企画・実施	3件以上	6件	◎	新城市 観光課、生涯共育課、健康課、市民病院と企画・実施
研究エビデンス 論文・学会発表	3件以上	16件	◎	研究活動で得られた価値を積み上げ 特許4件・受賞2件あり
出展・ワークショップの開催	2件以上	4件	◎	名大の考えるテーマに関して、産学官民に幅広く議論し磨き込みが出来た
健康講座の開催	6件以上	6件	○	イオンリタケにて実施

重点実施項目目標	KPI	結果	判定	特記事項
外部資金獲得（学内内部資金含む）への挑戦	3件以上	4件	◎	学外2件(内1件採択) 学内2件(すべて採択)
賛同企業・研究機関の新規獲得	2社3名以上	0社0名 2社退会	×	会員の役割とメリットの再確認 広報活動を強化

日付	項目(場所)	テーマ 紐付	分類	内容(産学官)
4/28	みらい健康ラボ マンスリーイベント(4月) (イオンリタケ)	1-2	講座	「みらいの病院」を覗いてみよう！(名大)
6/18	ミライバレーコンソーシアム総会 (名古屋大学東山キャンパス)	共通	総会	23年度事業報告 24年度事業計画承認、役員選任 (名大・コンソーシアム会員)
6/26-28	自治体Week2024 (東京ビッグサイト)	共通	出展	活動内容の周知・リード獲得 (名大・大成建設・豊田合成・TTDC・技研サービス)
6/30	みらい健康ラボ マンスリーイベント(6月) (イオンリタケ)	1-2	講座	最新技術で「眼の状態」をみてみよう！(名大)
7/1-8/31	スタンプラリーを活用したシビックプライド醸 成の検証(新城市) ※設楽原いろはかるた	その他	実証	スタンプラリーを通じて実際に訪れ「地域の良さ」を知り、シ ビックプライド醸成の効果を得ることができるか検証 (名大・TTDC・新城市)
7/1-7/31	デジタルトラスト形成プロジェクト (新城市)	1-3	実証	ヘルスケアに特化したスマートウォッチを対象に貸し出しを行 い、心理的移動・行動の変容・教育効果・継続性・付随 効果を検証 その1(名大・新城市)
8/25	みらい健康ラボ マンスリーイベント(8月) (イオンリタケ)	1-2	講座	みんなで楽しくダンス！ ひかりくうかん こころの旅 (名大)

日付	項目(場所)	テーマ 紐付	分類	内容(産学官)
9/1-9/30	デジタルトラスト形成プロジェクト (新城市)	1-3	実証	ヘルスケアに特化したスマートウォッチを対象に貸し出しを行い、心理的移動・行動の変容・教育効果・継続性・付随効果を検証 その2(名大・新城市)
9/30-1/10	道の駅 もつくる新城における実証実験 (新城市)	その他	実証	実地での人・車の計測における精度課題(オクルージョンによる精度阻害対策や複数カメラによるオブジェクトの追跡精度向上)を研究(名大・ナック)
10/5 12/5	せん妄対応支援プログラム (新城市民病院、名大病院)	1-1	実証	入院患者のカルテ等情報をもとに、AIがせん妄発症のリスクを評価し、看護師に対して適切な予防手法を提示するソフトウェア医療機器デモ実施(名大、がん研究センター・新城市民病院・名大病院)
10/13	みらい健康ラボ マンスリーイベント(10月) (イオンリタケ)	1-2	講座	サプリメントの安全性と女性の健康(名大)
10/24	新城市・名大ミニワークショップ(名大)	1-1	講座	新城市・名大のそれぞれのテーマの活動の相互理解 (新城市・名大)
11/11-1/31	スタンプラリーを活用したシビックプライド醸成の検証(新城市) ※新城七名城	その他	実証	スタンプラリーを通じて実際に訪れ「地域の良さ」を知り、シビックプライド醸成の効果を得ることができるか検証 (名大・TTDC・新城市)

日付	項目(場所) [テーマ紐付]	テーマ 紐付	分類	内容 (産学官)
12/15	みらい健康ラボ マンスリーイベント(12月) (イオンリタケ)	1-2	講座	顔を育てる！健康と魅力を生む表情トレーニング (名大)
1 月採択	セコム科学技術振興財団令和6年度 特定領域研究	1-2	提案	家族間での認知機能の強化システムの開発 (名大)
2/16	新城市民リーダー・名古屋大学による共 有・議論会	1-3	講座	名大の研究の仮説を、新城市民と名大で実際の活動を 共有しアイデアだし (新城市・名大)
2/15	名大主催 講座・体験会「ライフスタイル・ 健康を楽しく考える」	1-2	講座	名古屋大学が主催する講座・体験会を定期的を実施す ることにより、住民が世代を超えて相互的に社会貢献を実 感、健康を保つ仕組みづくりを目指す (新城市・名大)
2/23	みらい健康ラボ マンスリーイベント(2月) (イオンリタケ)	1-2	講座	ひびけ健康の和音♪音楽がもたらす心と体のハーモニー (名大)
3/6	第2回産学官民ワークショップ	1-3	講座	名古屋大学が提案するテーマ「ソーシャルナッジとトラストに より健康で生きがいに満ちた社会を創造」に対し産学官民 で共有・議論を行い、より具体的な内容に落としこむ(名 大主催で 1 3 企業、4 大学、7 自治体、6 市民)
通年	自治体・施設とのつながり	-	ネット ワーキング	愛知県 新城市、兵庫県 淡路市・神戸市、群馬県 静岡県 沼津市・御殿場市・富士市 北海道 東神楽町、イオンリタケ (愛知県 名古屋市)

【学会発表】

- [1] 4月医用物理学会 I メディカルAI人材養成産学協働拠点(AI-MAILs)における医療Dx人材育成
- [2] 6月JMAI(メディカルAI学会) 連合学習と秘密計算による多機関共同医療リアルワールドデータ解析
- [3] 8月 日本看護学校協議会学会 医療現場と看護科学における 医療AIの果たす役割と展望
- [4] 9月EFMI MIE2024 (欧州医療情報学会) Enhancing Medical Device Management with IoT Powerstrip
- [5] 11月第44回医療情報学会 中型医療機器管理IoTデバイス：ロケモ！を用いた多施設運用検証

【論文】

1. Fujita, A., Oyama, S., Tatebe, M., Shimoda, S., Tokutake, K., Yamamoto, M., & Hirata, H. (2025). Eyes and movement differences in unconscious state during microscopic procedures. *Scientific Reports*, 15(1), 6712.
2. Oyama, S., Iwase, H., Yoneda, H., Yokota, H., Hirata, H., & Yamamoto, M. (2025). Insights and trends review: Use of extended reality (xR) in hand surgery. *Journal of Hand Surgery (European Volume)*, 17531934241313208.
3. Sato, Kikue, Taiki Furukawa, Daisuke Kobayashi, Shintaro Oyama, and Yoshimune Shiratori. "Environmental Geomarker to Assess Impact on Hospitalization." *Studies in health technology and informatics* 316 (2024): 1574-1575.
Oyama, Shintaro, Takanobu Otsuka, Yoshinori Ideno, Kosuke Shima, and Hideki Miyagi. "Enhancing Medical Device Management with IoT Powerstrip." *Studies in health technology and informatics* 316 (2024): 485-486.
Fikry, Muhammad, Christina Garcia, Vu Nguyen Phuong Quynh, Sozo Inoue, Shintaro Oyama, Keiko Yamashita, Yuji Sakamoto, and Yoshinori Ideno. "Improving Complex Nurse Care Activity Recognition Using Barometric Pressure Sensors." In *Human Activity and Behavior Analysis*, pp. 261-283. CRC Press, 2024.
4. Ningjia Yang, Sayako Ueda, Alvaro Costa-Garcia, Shotaro Okajima, Hiroki C. Tanabe, Jingsong Li and Shingo Shimoda, "Dynamic causal model application on hierarchical human motor control estimation in visuomotor tasks", *Frontiers in Neurology* 14 2024.
Z. Chen, et. al., ``A Modular Biological Neural Network-Based Neuro-Robotic System Via Local Chemical Stimulation and Calcium Imaging'', *International Conference on Robotics and Automation*, 2024
5. Asuka Kawano (Associate Professor, Nagoya University) Hironori Hirano (Researcher, Nagoya University/TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION), Visualizing Learning in Lifelong Learning and Creating Learning Opportunities : Building a Learning System in the Local Community, *生涯学習 キャリア教育研究* 第 21 号(2025)
6. Xie Chen, et. al., "A Micromanipulation-Actuated Large-Scale Screening to Identify Optimized Microphysiological Model Parameters in Skeletal Muscle Regeneration", *Advanced Science*, 2024
7. Sun Tao , et. al., "A Microscopic Vision-Based Method for Enhancing the Printing Accuracy of Microfluidic Printer", *IEEE/ASME Transactions on Mechatronics*, 2024
8. Shotaro Okajima, et. al., "Proposal of Mechanistic Hypothesis for Influence of Headache-Related Brain Activity on Muscle Activity and Its Verification", *Inter-national Conference of NeuroRehabilitation*, 2024
9. Satsuki Yamauchi, et. al., "Preventing Frailty for Healthy Aging: The Case of Cognitive Frailty but Socially Healthy", *International Conference of NeuroRehabilitation*, 2024
10. Hiroto Shimizu, et. al., "Infrastructuring Robotics in Healthcare and Rehabilitation", *International Conference of NeuroRehabilitation*, 2024
11. Riku Kawabata, et. al., "The Proposal and Usefulness of a Forearm Muscle Activity Estimation System for the Treatment of Tremor: A Case Study", *International Conference of NeuroRehabilitation*, 2024

【知財】

特開2024-079053 サーバ、サーバ用のプログラム、および通信システム

特開2024-72152 管理システムおよび管理方法

US Patent 20250103630 SUPPORT APPARATUS, SUPPORT METHOD, AND SUPPORT PROGRAM

US Patent 20250021740 Document presentation apparatus, document presentation method, and document presentation program

【受賞】

令和6年度総務省「電波の日」東海総合通信局長表彰

2024年第6回メディカルAI学会奨励賞JMAI AWARD 優秀ポスター演題賞

収入（会費） ¥4,914,962
支出 ¥4,368,301
残高 ¥546,661

収支とも計画どおり

活動計算書			
令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 3月 31日 まで			
ミライバレーコンソーシアム			
単位：円			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
会費(大企業)	3,000,000		
会費(大企業以外)	540,000	3,540,000	
経常収益計			3,540,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
寄付金	1,200,000		
制作費	2,771,900		
講座開催費	62,411		
通信費	30,000		
支払手数料	5,280		
その他経費計	4,069,591		
事業費計		4,069,591	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
広報費	175,945		
会議費	116,605		
消耗品費	4,400		
支払手数料	1,760		
その他経費計	298,710		
管理費計		298,710	
経常費用計			4,368,301
当期経常増減額			△ 828,301
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 828,301
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 828,301
前期繰越正味財産額			1,374,962
次期繰越正味財産額			546,661

第2回ミライバレーコンソーシアム総会
(2025/4/17) 第2号議案 報告

7 法人、3 個人会員（2025.4.1現在）

NO.	企業名・個人名・	種別		取り組みテーマ概要
1	株式会社技研サービス	法人	大企業以外	公共施設管理運営（つながり、リソース不足）
2	大成建設 株式会社	法人	大企業	スマートホスピタルソリューション（医療課題）
3	豊田合成 株式会社	法人	大企業	E-Rubber(健康課題)
4	トヨタテクニカルディベロップメント 株式会社	法人	大企業	バーチャル公民館（つながり、リソース不足）
5	国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学	法人	大学	コンソーシアム幹事組織（医療、健康、ライフスタイル研究）
6	株式会社 ナックイメージテクノロジー	法人	大企業以外	リアル環境データ計測（交通課題）
7	ニプロ株式会社	法人	大企業	スマートホスピタルソリューション（医療課題）
P1	国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科 科長 小川朝生	個人	研究機関	せん妄対策支援（医療課題）
P2	国立がん研究センター 東病院 特任研究員 金田賢	個人	研究機関	せん妄対策支援（医療課題）
P3	津田塾大学 非常勤講師 鈴木秀紀	個人	大学	地域創生、地域活性化

法人は50音順、敬省略



6/18(火)名大NIC3F大会議室にて実施

- ・議案 第1号 2023年度事業報告
- ・議案 第2号 2023年度決算報告
- ・議案 第3号 コンソーシアム名称の変更
- ・議案 第4号 コンソーシアム規約の改定
- ・議案 第5号 コンソーシアム役員の選任
- ・議案 第6号 2024年度事業計画
- ・議案 第7号 2024年度予算計画

全議案に
関して可決

ミライバレーコンソーシアム 役員名簿 (2024.6.18 現在)

【役員】

代表	佐宗 章弘	名古屋大学 副総長
副代表	木村 宏	名古屋大学大学院 医学系研究科 研究科長
幹事	山本 美知郎	名古屋大学大学院 医学系研究科 総合医学専攻運動・形態外科学 教授
幹事	平田 仁	名古屋大学大学院 医学系研究科 個別化医療技術開発講座 特任教授
幹事	下田 真吾	名古屋大学大学院 医学系研究科 特任教授
幹事	大山 慎太郎	名古屋大学 未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授
幹事	米澤 拓郎	名古屋大学大学院 工学研究科 情報・通信工学専攻情報通信 准教授
幹事	河野 明日香	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教育科学専攻生涯発達教育学 准教授
幹事	藤原 武史	豊田合成株式会社 開発本部 材料開発部 主監
幹事	穴田 孝二	豊田合成株式会社 ライフソリューション事業本部 営業部 主監
幹事	三和田 靖彦	株式会社ナックイメーテクノロジー 技術顧問
幹事	西澤 博之	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 事業基盤改革部アドバンスプロジェクト室 室長
事務局長	吉川 正	名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授

【外部役員】

下江 洋行 新城市長

ミライバレーコンソーシアム展示ブースの来場結果

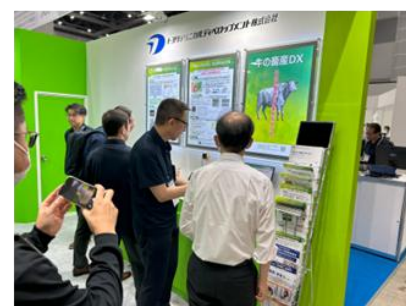
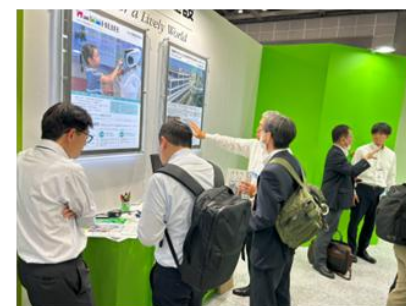
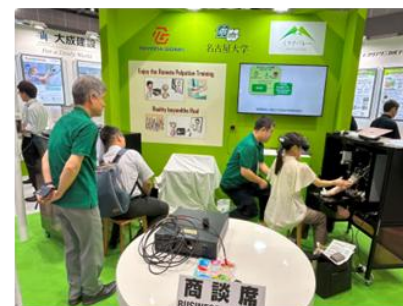
	6/26(水)	6/27(木)	6/28 (金)	合計(名)
来場者数	5771	6722	7499	19902
名刺交換数 (バッチ読取)	100	94	125	319
有力な顧客獲得数 (主観評価)	22	12	15	49

ご参考
昨年度の数(比率)

19909 (100%)

188 (170%) ▲

各ブース個別 (重複訪問有)	名刺 交換数
コンソーシアム	47
大成建設	119
豊田合成 名古屋大学	99
TTDC	105
技研サービス	19



昨年度の1.7倍の名刺交換数が得られ、コンソーシアムと会員企業の活動周知の場となった

ミライバレーコンソーシアム

産学官民連携によるイノベーションで地方創生

① 目的

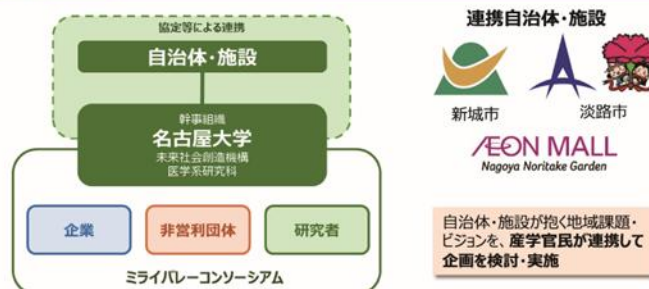
日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現

- ・地方都市が良くなることを第一に!!
- ・医療、健康、ライフスタイル等の分野における新しい行政サービスの創出
- ・地域の成長に貢献する産業の創出

我が国全体の社会課題の解決に貢献

- ・地方都市や中山間地域に適用できるソリューションを全国に展開

② 体制



③ メリット

- ・オープンイノベーションを大学が牽引（国プロジェクトとの連動・連携）
- ・名古屋大学の研究力（医療・健康・ライフスタイル）
- ・テーマのマッチング成立後、自治体との連携
- ・コンソーシアムに参画している産学機関とのつながり

④ 問い合わせ先

ミライバレーコンソーシアム事務局 OMV@mirai.nagoya-u.ac.jp



<https://mirai.omv.aichi.jp/>

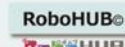


スマートシティ推進 EXPO

まちのスマート化・コンパクト化を推進するサービスが注目

産学官民連携によるイノベーションで 地方創生

ロボット統合管制プラットフォームで生産性向上、人手不足の解消を実現

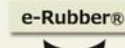


医療従事者の管理業務を効率化し、患者や要介護者の安全、医療サービス向上に寄与



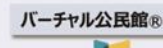
大成建設株式会社

遠隔から健康を支え、もしもの時は医師と患者を優しく繋ぐみらいのカタチを創る

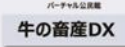


名古屋大学・豊田合成株式会社

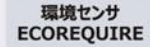
小さな拠点を共助でつなぎ、少子高齢化・リソース不足に対応



AI技術とセンシング技術で畜産農家の生産性向上



工場やハウス栽培における環境ムラを可視化、品質向上・光熱費削減を実現



トヨタテクニカルディベロップメント株式会社

効率と信頼のパートナーシップで行政をサポート



株式会社技研サービス



<https://mirai.omv.aichi.jp/>



【計画】

コンソーシアム

24年度活動スケジュール 3項

【目的】

- ・コンソーシアム及び会員の活動内容の周知
- ・リード獲得

【活動成果確認方法】

- ・名刺交換数（バッジ読み取り数）
- ・バッジ読み取り時のリード内容の結果を分析

「みらいの病院」を覗いてみよう!

ナゴヤガーデン
クリニック
共催イベント

みらい健康ラボ

マンスリーイベント
4/28日 14:00-16:00

会場 イオンモール Nagoya Noritake Garden
3F イオンホール

公式マスコット
キャラクター決定!
う木先生

参加費無料

1部 みらい健康ラボアカデミー
「みらいの病院」ってどんなもの?
みらい健康ラボがスタートして一年。健康に関する色々な話題を取り上げてきましたが、今年度はそれらの話題をまとめて、みらいの病院がどんなものなのか、一緒に覗いてみましょう。
講演 ナゴヤガーデンクリニック 副院長 整形外科医師 山下暁士先生

2部 みらい健康ラボ体験シリーズ
「みらいの病院」を体験してみよう
4月はみらいの病院が痛みをどう治していくのかを考えます。肩・膝などに痛みのある方は、どうすれば効果的に治すことができるかをぜひ体験してみましょう。

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみんなで作ろう!

ムーンショット型研究開発事業とは?
これからの日本を支える新しいイノベーションを生むため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づく研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AI ロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは?
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

LINE みらい健康ラボ公式LINE
お友達追加をして最新情報をチェック!

supported by Menicon

最新技術で眼の状態をみてみよう!

みらい健康ラボ

マンスリーイベント
6/30日 14:00-16:00

会場 イオンモール Nagoya Noritake Garden
3F イオンホール

公式マスコット
キャラクター決定!
う木先生

参加費無料

1部 みらい健康ラボアカデミー
知っていますか?近視と眼の病気の話
皆さん、眼の調子はいかがですか?人は感覚の8割を眼から得ていると言われるほど眼は大切です。最近、近視の人が増えていますが、近視の眼にはもっと怖い眼の病気が隠れていることもあるようです。みんなで眼の健康について考えてみましょう。
講演 三木 篤也 先生 愛知医科大学 医学部近視進行抑制制御講座 教授 愛知医科大学 眼科クリニックMIRAI クリニック長

2部 みらい健康ラボ体験シリーズ
最新技術で眼の健康状態を知ろう
みらいの病院では、眼の健康はどうやって守るのでしょうか。最新の機器を用いて眼の状態を測定し、専門医にその特徴について解説してもらいましょう。今まで気づかなかった眼の問題が分かるかもしれません。

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみんなで作ろう!

ムーンショット型研究開発事業とは?
これからの日本を支える新しいイノベーションを生むため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づく研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AI ロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは?
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

LINE みらい健康ラボ公式LINE
お友達追加をして最新情報をチェック!

ムーンショット型 研究開発事業

みらい健康ラボ

夏休み特別企画
8/25日 10:30-17:00

会場 イオンモール Nagoya Noritake Garden
3F イオンホール

参加費無料

事前申込 優先

「みんなで楽しくダンス!」
Bling-bang-bang-born を踊ってAI診断!
浜崎あゆみや安室奈美恵、Kinki Kidsのバックダンサーを務めた名古屋出身のダンサー浅井みどり先生が、誰でも楽しく踊れるダンスを考案。さらにダンスをAI解析することで、より健康になる方法を教えてくれます!ソロダンスを極めるもよし、5名まででチームを組んで仲間や家族と一緒に踊るもよし!子供から大人まで、暑い夏を楽しく踊って、みんなで健康になりましょう! ※暑くなりますので飲み物をご持参ください

各回 15分前開場

1部 10:30-11:30
2部 14:00-15:00
3部 16:00-17:00

申込はこちらから

「ひかりくうかん こころの旅」
プロジェクターで彩られた映像に包まれよう!
エプソンのプロジェクターで彩られた映像に包まれる空間の中に入ろう!ひかりに包まれて自然や宇宙の空間に身をゆだね不思議な体験の旅にかけよう!
協力 セイコーエプソン株式会社 開催時間 10:30-17:00

ムーンショット型研究開発事業とは?
これからの日本を支える新しいイノベーションを生むため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づく研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AI ロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは?
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

主催 東海合成株式会社 NVIDIA 株式会社電通遊遊遊遊サービス デロイト・トーマツヘルスケア 日本電気株式会社 NECソリューションイノバータ株式会社

協賛 名古屋大学 名古屋大学 ミライバレー

ムーンショットプロジェクト

LINE みらい健康ラボ公式LINE
お友達追加をして最新情報をチェック!

4・6・8月 みらい健康ラボ開催 (イオンリタケ)

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみながら

テーマ 1-2

ムーンショット型 研究開発事業

みらい健康ラボ マンスリーイベント

ひびけ健康の和音♪音楽がもたらすハーモニー

音楽には、心を癒やし、体を元気づける不思議な力があるのをご存知ですか？近年の研究から、音楽が私たちの心と体とに与える健康効果が次々と明らかになっています。今回の「みらい健康ラボ」ではプロの演奏家をお迎えし、音楽の魅力を体感するとともに、私たち自身の健康と音楽の深い関係について一緒に考えてみましょう。

1 部

みらい健康ラボアカデミー

音楽の三要素と心身の健康

西川 久仁子

株式会社ファーストストーリー・ヘルスケア
代表取締役

牛田 聖子

子どものための音楽療法スクール「音の橋」
ノード・ロビンス音楽療法士
ボディセラピスタ

林 のぞみ

元関西フィルハーモニー管弦楽団
首席ヴィオラ奏者

生田 直基

クラシックギター奏者

2 部

みらい健康ラボ 体験シリーズ

響きが紡ぐひととき：演奏家と語る音楽の力

2/23 日

14:00-16:00

参加費無料

イオンモール

Nagoya Noritake Garden

3F イオンホール (定員100名さま)

お申込はこちら

ムーンショット型研究開発事業とは？

これからの日本を支える新しいイノベーションを生むため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づく研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AI ロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは？

みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な、主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだら、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらおうという科学の発展に貢献できる研究室です。

LINE
みらい健康ラボ
公式LINE

お友達追加もして
最新情報をチェック！

主催

ムーンショットプロジェクト

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

豊田合成株式会社 NVIDIA
株式会社電通町情報サービス
デジタルトマーズヘルスケア
日本電気株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社

NGC
NAGAOYA-GARDEN CLINIC
Nagoya Noritake Garden

AEON MALL
Nagoya Noritake Garden

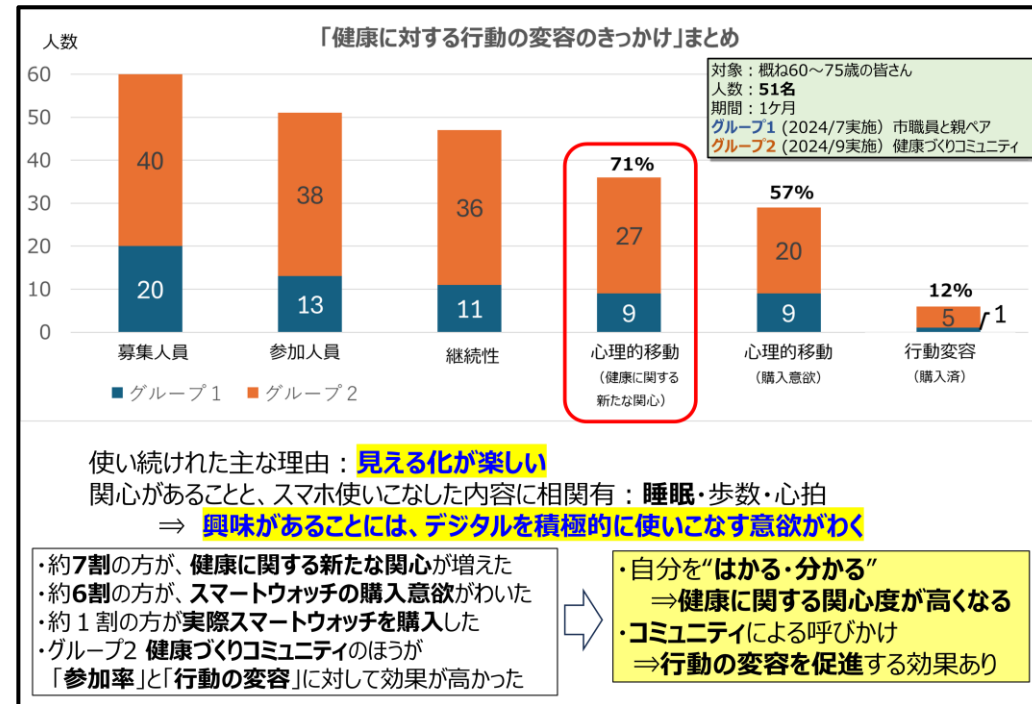
24

【実施事項】「スマートウォッチをつけてみて、自分を知ろう！みんなで使いこなそう！」を合言葉に概ね60～75歳の皆さんを中心として、1ヶ月間体験
【ねらい】 研究を通じて、デジタルを使いこなすきっかけ、健康に対する行動変容のきっかけづくり

テーマ 1-3

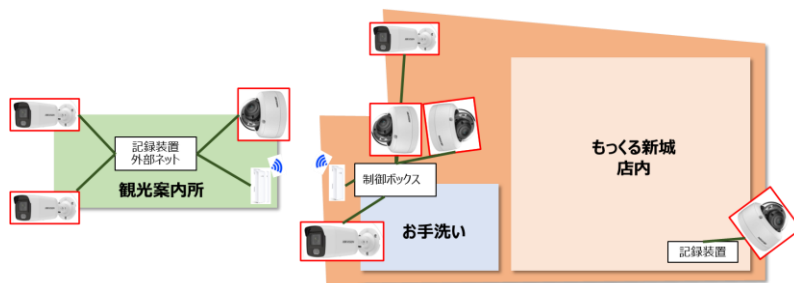


説明会の様子
(和気あいあいの中、アプリが使えるようにサポートを受けながら自らスマホに設定)



自分を“はかる・分かる”で健康に関する関心度が高くなる
コミュニティによる呼びかけにより行動の変容を促進する効果あり

道の駅 もつくる新城における交通参加者の動き（人、車の全体的な動きと、バス乗客の入店状況）を計測し、精度課題の抽出と向上を行う ⇒ 駐車場内の安全対策等に活用検討



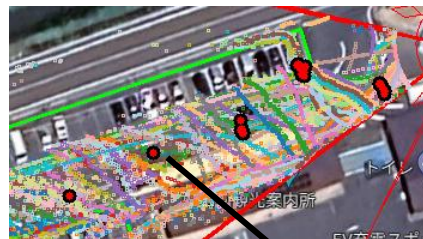
- ・道の駅屋外全体と店舗前通路にカメラ8台を設置
- ・カメラ画像をAIで計測し、人や車の動きを認識



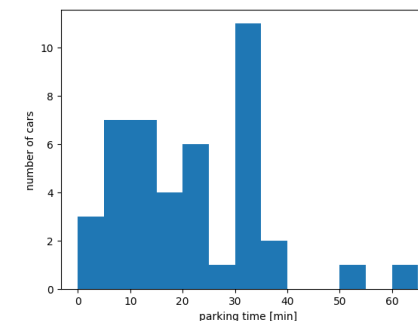
歩行者 動線 (例)



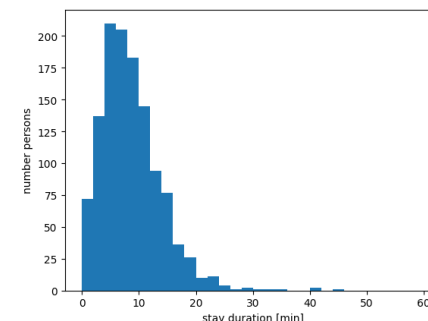
車 動線 (例)



歩車接近事象の検出



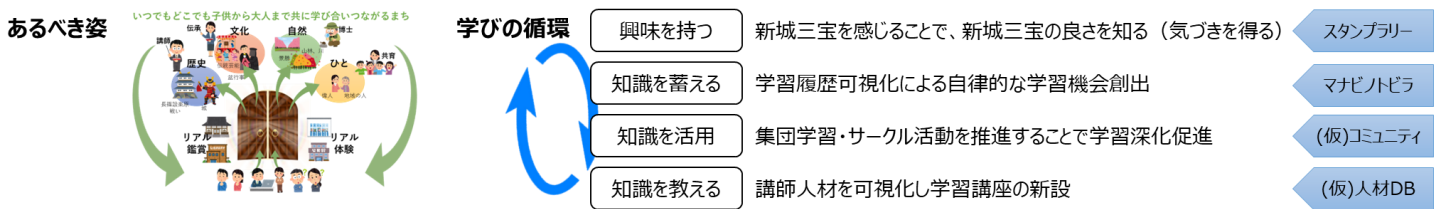
トラックの駐車時間の分析



店舗滞在時間の分析

「道の駅もつくる新城」における交通参加者の見える化と分析を実施⇒**現状を定量把握**

24年度 産学官連携事業[教育] スタンプラリー & 学習履歴可視化 振り返り



【目的】 ●新城の良さへ気づき ●自律学習・学習機会の創出

【テーマ】 生涯学習における学びの可視化・学習機会の創出の検討
—地域社会における学習システムの構築—

【概要】



日時：2024年7月1日～2024年8月31日
場所：新城市街のいろはかるた看板設置場所
参加者：東郷および千郷地区の小学生
対象校に生徒数のチラシを配布し参加呼びかけ
しかし、参加者数が集まらず、実証検証不可
(アンケート回答数：5名)

⇒ヒアリングの結果、「スタンプラリーを知らない」多数
広報活動の見直し



日時：2024年11月11日～2025年1月31日
場所：新城7名城
参加者：誰でも参加可、アンケート回答数111名
若者議会、軽トラ市、歴史講座などでチラシ手配り
による参加呼びかけ
新城市民以外もスタンプラリーに参加
スタンプラリー実施後、Webアンケートを実施



日時：2024年12月7日
講座：長篠・設楽原ミニ講座
日時：2025年1月12日
講座：桶狭間の戦い
参加者：受講履歴を希望者7名
3年間の受講履歴をレーダーチャート可視化、配布
同時に、紙面アンケートによる調査

【結果】

【アンケート（抜粋）】



歴史興味への変化：スタンプラリーを通して、歴史に興味を持っていなかった層に興味関心の変化が見られた

他地域への訪問意欲：実際に歴史史跡を訪れることで、他の歴史関連施設へ訪問意欲が高まる効果が窺える

過去の受講履歴の活用：他の分野に対する学習意欲が見られる、成果の具体化に向けた整理に期待

スタンプラリー通じて歴史への関心の変化、訪問の意欲が向上した

国立がんセンターとの共同プロジェクト



せん妄対応支援プログラム (新城市民病院・名大病院) デモ完了

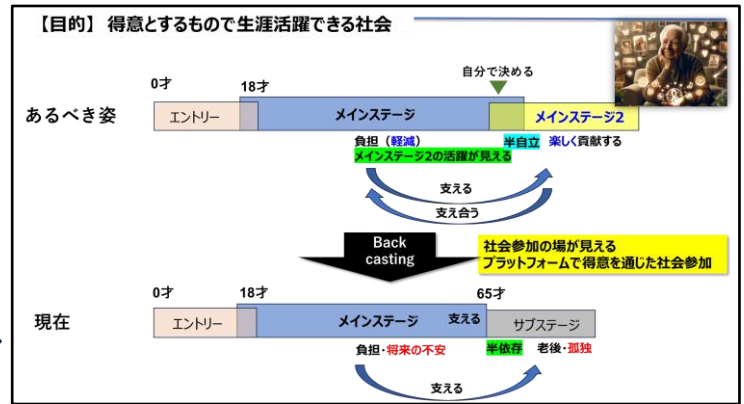
一 産学官連携地域活性化ワークショップ開催（まさに共創の場）

- 開催日時：2024年2月15日（水）10:00~17:45
- 開催場所：名古屋大学東山キャンパスES 総合館1F ES 会議室
- 参加者：計52名（産：17名、学：17名、官：18名（7自治体））
- 目的：「地域が未来に対してやりたい思い」を実現させるために、課題を共有し、新たなアイデアを入れ込む具体的な連携を議論。
- プログラム概要：①話題提供（健康長寿の実現、各自治体取組紹介） ②グループ討議・全体発表 ③総評
- 当日の動画（ダイジェスト）：<https://youtu.be/ktWqewQt5b0>
- 結果：産学官の枠を超えた活発な議論により「自治体の共通の課題・想い（緩やかなつながりが必要）」であることを確認
- 展開：ワークショップで出た気づきを自職場に持ち帰り、自治体同士・産学間の具体的な連携を検討（既に検討案件あり）



1.多様性を持った方々（産学官）の議論
を交え取り組み骨子を決定

ゆるやかなつながりによる
社会参加寿命延伸



2.ビジョンからバックキャストで
ターゲットを選定

テーマ 1-1



3.名大の医学・ロボット・情報工学、
教育学（文理融合）の専門家の先生
を中心に産学官で組成を計画

社会課題からテーマを選定し産学官で企画・提案

新城市・名大ミニワークショップ概要

- 開催日時：2024年10月24日（水）10:00~12:20
- 開催場所：名古屋大学 東山キャンパスNIC館3F 大会議室
- 参加者：計14名（新城市 4名、岐大 1名、名大 9名）
- 目的：新城市、名古屋大学の双方のプロジェクトの共通点・相違点の理解、それを踏まえて今後、連携して何を目指し、どの様に取り組みを評価するかを議論し、具体的な次の一步のヒントを得る
- プログラム概要：①話題提供（新城市統計データ、新城市、名大プロジェクト説明、well-being） ②グループ討議・共有・まとめ
- 結果：新城市・名大とも、方向性は同じ、方法での違いあり ⇒ 共通点と相違点を理解できた
- 次にやること：市民参加型の具体的なテーマを企画する（市目線、大学（企業）目線、市民目線）



テーマ 1-1



具体的なキーワード

- ・行政⇒市民目線・行政目線の双方から取り組みを検討
市民のIKIGAIへのアプローチ（自主的にIKIGAIの花を咲かせること）を支援したい
- ・大学⇒マッチングによる仕組と幸福度、社会参加率の検証（より上位からのアプローチ）
- ・well-being(良い状態) 唯一の定義は無い（心・体）
- ・軸足ははつらつ世代だが、世代をリレーする若手に波及するロジックが必要、具体的にお互い気づき境界を溶かす(awareness)
- ・需給情報が欲しい（（例）求人とのミスマッチを把握）
- ・市民がうれしい、楽しいを実感する中で、**行政の目論見、大学の目論見、ゆくゆくは企業の目論見を相互活用**）、継続的な場
- ・共感・共体験を設定するのも有



新城市 杉下さん、配島さん、和田さん、岩山さん

岐阜大 豊川URA

名大 山本先生、下田先生、大山先生、米澤先生、河野先生、鈴木先生、吉川先生、沖原URA、野木さん

新城市IKIGAIプロジェクト・名大研究の活動内容を相互理解→それぞれ始動

公益財団法人 セコム科学技術振興財団令和6年度:特定領域研究助成

複合感覚空間コンピューティングによる家族間での認知機能の強化システムの開発
名古屋大学:下田真吾

テーマ 1-2

本プロジェクトの命題

「技術により生み出された分断社会を、技術により再び繋ぐ事ができるのか」

脳のSoftware Disease

命題を解決する技術
人を知り,詳しく計測し,的確に介入する
人間情報学+AIロボタイゼーション

特に
脳のSoftware Disease
への対処

島皮質を中心とした脳深部
部位のネットワークによる
「環境への意味づけ」を行う

意味づけががときに人にとって
不都合な状態を生み出す

分断社会の一因
慢性疼痛
運動麻痺
認知症

1. 認知症は,神経細胞の減少の結果ではない
近年解明された事実
脳委縮しても,島皮質を中心とした脳深部の
広域ネットワークが発達している場合は,
認知的な問題が見られない場合が多い.

認知症はSoftware Diseaseであり,
脳が委縮しても広域ネットワークでその
代償が可能である.

2. 認知的フレイル状態では,回復が可能
身体機能の低下と認知機能の低下が併存する状態

日常生活での運動観察から認知的フレイルを同定可能

早期発見早期介入により,認知機能を維持した
健康長寿が可能 (Brain Maintenance)

認知機能に注目することで
脳のSoftwareへの介入手段の確立を目指す

研究構想

1. 運動計測環境の構築
対象項目
・ 自律神経活動
・ 歩行速度・歩容
・ 立位・立ち上がり姿勢
・ バランス能力
・ 筋力

イオンモールでの計測を実施中

日常生活での計測に応用し,普段の
動きの中から認知的フレイルを定量化

2. 介入手段の構築
主体的な行動を促す手段
適切な気づきを与える

複合感覚空間コンピューティング
による,自己・他者状態の主体的
な認識

3. 個人情報管理
全てのデータの所有者をその人個人
として扱う, Personal Health
Recording (PHR)を利用すること
を計画

4. 実証実験協力
名古屋大学を中心に,地方自治体・
研究者・企業を巻き込んだコンソーシ
アムと協力

研究計画

最終目標: MMSC を利用した家族間の絆強化による認知機能向上の定量化

達成目標

1年目: 基本的な計測・推定・介入システムの構築

詳細項目

・ 非侵襲生体信号データ (自律神経活動・筋活動) 及び
生活動作 (Motion Capture) 及び計測システム確立
→ 「運動意図」と「実際の運動」のずれを場面ごとに定量化

・ 透明ディスプレイ・音響・触覚入力を利用した
無意識への介入システム構築
→ 他者状態の気づきを主無意識下への入力の定量化

・ 脳神経系推定モデル開発
→ 計測データに基づく脳活動推定モデルの提案

2年目: システム統合により MMSC の構築

詳細項目

・ 計測データからの脳神経活動リアルタイム推定システムの実現
→ 計測・推定・介入の Feedback System を構築

・ 個人情報管理システム

3年目: 家族間の絆強化による認知機能向上の定量化

詳細項目

・ コンソーシアムを形成している地方自治体と協力し,
実際の現場での認知機能向上の定量化

4つのWork Package

WorkPackage1
認知機能定量化が可能な生体
データ計測システムの構築

WorkPackage2
MMSCによる認知機能への
介入システムの構築

WorkPackage3
脳活動及び介入影響の
モデル化

WorkPackage4
全体システム構築と
マネジメント

まとめ

1) Empathy: 困っている生活対象者が明確で,安全・安心に寄与するか?
認知機能の衰えはこれからの超高齢社会では避けて通れない問題であり,いかに認知
機能を維持し,社会参加可能な状態を維持するかは,極めて重要な問題である.

2) Equity: 具体的なニーズがあり,対象者の多様性を考慮されているか?
65歳以上の高齢者の25%以上に認知の問題があることが分かっており,極めて大き
なニーズがある. また認知機能の問題は個人ごとに大きな違いがあり, PHRを利用しな
がら,個人に応じた対応が行えるシステムとしていく必要がある.

3) Embeddability: 実際の生活の場面への適用性,現実的な問題設定か?
実際の生活場面に応用できるように,先に述べたミライバレーコンソーシアムとしっかり
連携し,実現可能なシステム構築をしていきたい.

4) Evidence-Driven: データに基づくフィードバック可能性はあるか?
日常行動の変化の問題点抽出に,データDrivenの異常検出を用いる予定である.

5) Ecological multistakeholder: 実装するのに必要な多職種連携体制があるか?
MMSC開発では,すでにいくつかの企業と連携を進めており,みらいバレーコンソーシ
アムにおいても自治体との連携なども進めるため,既に構築済みの多職種連携体制を
用いて研究を進めることが可能である.

社会課題への挑戦
(家族間での認知機能の
強化システムの開発)

25年度: まずは,ラボで基本的な計測・
推定・介入システムの構築を行っていく

ソーシャルナッジとトラストにより健康で生きがいに満ちた社会を創造

テーマ 1-3

IKIGAI (国際的な共通認識としての「生きがい」)



身体的・精神的に健康
+
社会的な健康

相互実現とトラスト社会の形成
(健康で生きがいに満ちた社会)

今回のWSの目的
目指すべき自己実現社会において
プレイヤーがどのように機能することを期待されるか
差分や変化を明確化するためのプロセス
チームビルディング

社会課題からテーマを選定し産学官民で企画・提案

活動トピックス8:新城市民リーダー・名古屋大学による共有・議論会

名古屋大学 7名
企業3名(オブザーバー)



健康づくり・地域活性化 **テーマ 1-3**
リーダー6名



名古屋大学が
提案している研
究テーマ・想いを
説明



(1)活動の見える化、発信力の強化（興味をもつ）
(2)コミュニティによるつながりの連鎖 → トラストの形成
(3)定期交流の場、世代を超えたイベント
→ 選択枝を持つ、次の世代に繋ぐ
なにより楽しく！



健康づくり・地域
活性化リーダー
さんの思い・課
題の共有

研究の仮説と、実際の活動を共有することで**活発な議論ができ、アイデアが生まれた**
→ **今後のアクションプランに生かす**

活動トピックス9:名大主催 講座・体験会「ライフスタイル・健康を楽しく考える」

- ・今後、日本は人口減少と少子高齢化が進み**人生100年時代**が到来
- ・その中で、健康であり続けるためには従来の医療・健康・ライフスタイルに関する考え方を革新し、官民一体の取り組みによる**行動変容が必要**
- ・名古屋大学が主催する講座・体験会を定期的**に実施**することにより、**住民が世代を超えて相互的に社会貢献を実感、健康を保つ仕組みづくり**を目指す

名古屋大学プロジェクト
講座・体験会

ライフスタイル・健康を楽しく考える

学び
名大病院
大山慎太郎先生、岩瀬祐章先生
新城市民病院
玉腰大先生、伊藤里奈先生
お医者さんから学ぼう

気づき
体組成
足の重心 姿勢
心拍・歩数・睡眠
自分の状態を知ろう

体験
乗ってみる
歩いてみる
つけてみる
ロボットを
操作してみる
遠隔で触覚！
カードを押して
みる
驚き楽しもう！

行動のきっかけ
結果からおす
めを紹介される
お医者さんから
アドバイスを
地域リーダーさん
の取り組みを知る
自分にあった
活動を知ろう

講座ゾーンスケジュール
10:30～11:00 お医者さんによる講座
11:00～11:30 みんなで一緒に考える

体験ゾーンスケジュール
11:00～14:00 自由にお越しください
白衣を着たお医者さんに気軽に声掛けて下さい！

2/16日
10:30～14:00 【開場】 10:15

会場 愛知県新城市 西部公民館 (ちさと館)

主催 名古屋大学 未来社会創造機構
協賛 名古屋大学 大学院医学系研究科、健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点(C-REX)、ミライバレーコンソーシアム
後援 新城市
問い合わせ先 ミライバレーコンソーシアム 事務局 吉川・沖原・野木
OMV@miraivalley-u.ac.jp

健康に関心がある方なたでも
※ご家族(お子様)参加歓迎

参加無料
事前登録不要
自由に入退OK

アンケートに答えて、
健康にいいお茶を
プレゼント！

ロボットの操作して、
お菓子茶をゲット！

健康に関心がある方なたでも
※ご家族(お子様)参加歓迎

会場レイアウト



健康に関心を持った主に40～70代の方とお子様を含め、約50名が参加・体験

活動トピックス9:名大主催 講座・体験会「ライフスタイル・健康を楽しく考える」

メイン研究パネル

体験ブースパネル

テーマ 1-3



**ソーシャルナッジとトラストにより
健康で生きがい豊かな社会を創造**
～名古屋大学が主催する健康・体験会を定期的に開催～

健康トラストの下に、相互にナッジする社会

新築瓦工ワークショップ
LIFEWORKS (2024.04.13)



AI歩行解析
～センサーを埋め込み10m歩くだけで歩容のデータや、リスクを判定します！～

AI Smart Insole for Healthy aging
"Prediction of Frail"
"Coach for beautiful walking"

01 履く 02 測る 03 予測を伝える 04 人の介入



分房ロボットを体験しよう！
～名古屋大学大学院工学研究科 電脳ロボット学研究室～

分房ロボットって？
VRゴーグルを使ってロボットの中に乗り移るように操作できるロボットです。
分房ロボットを使うと、動かなくても歩容や、歩いに行けるようになります！
入館中の方などの外出が困難な方も分房ロボットで外出できるように！

分房ロボットは何かできるの？
分房ロボットにはアームがあるのでも色々なことができます！
例えば、
ペットボトルを運んだり 荷手したり ボタンを押したり

分房ロボットが何ができるの？
今回は、こんなことを体験してもらいます！
・お菓子・ジュースを分房ロボットで取ったり
・友達や自分と分房ロボットで遊んだり



新しいカートの提案
～高齢者カートを楽しく安全に使う方法を提案～

高齢者の暮らしを豊かにする新しいカートを提案する自らの経験に基いて、
「自分たちがつづいていくべく長く使い続けられる提案」を提案します。

日常のお出かけをサポートし、
フレイルを予防するカートを開発しています。
✓ 軽く、狭い、いろいろな場所でも便利に
✓ 歩きやすさにとれたたフレームで軽快よく、機能的！

「フレイル」を予防して、いきいきとした未来を。



**生成AIを用いた
体組成データに基づく地域活動情報提示システム**
～生成AIを活用した地域活動情報提示システム～

1. 概要
2. 方法
3. 実証
4. 今後の展望



健康とデジタルを学ぶ
～生成AIを活用した健康・体験会～

「スマートフォンを持ってきて、自分の健康を楽しく考える」を目的に、
健康とデジタルを学ぶ。健康とデジタルを学ぶ。健康とデジタルを学ぶ。

健康リーダー・地域活性化リーダーパネル



奥三河まるごとキャンパス
～誰もが自分の人生を思い描ける社会を創出～

「どこにいても自分の人生を思い描ける社会を創出」を目的に、
自分の人生を思い描ける社会を創出。自分の人生を思い描ける社会を創出。



健康づくりリーダー活動
～健康づくりリーダー活動～

健康づくりリーダー活動。健康づくりリーダー活動。健康づくりリーダー活動。



健康づくり活動
～健康づくり活動～

健康づくり活動。健康づくり活動。健康づくり活動。



作手地域活性化活動
～作手地域活性化活動～

作手地域活性化活動。作手地域活性化活動。作手地域活性化活動。

テーマ 1-3



市長ご挨拶：IKIGAI
プロジェクトとの連携



名大PLより説明



新城市民病院・名大のお医者さんから
健康のために「大切なこと・続けられること」キーワードで
市民に説明・対話



モデレータ・パネ
ラー・参加者との
ディスカッション

活動トピックス10:第2回産学官民ワークショップ開催

テーマ 1-3

- 開催日時：2025年3月6日（木）9:00～17:45
- 開催場所：名古屋大学東山キャンパスES 総合館1F ES 会議室
- 参加者：計54名（産：17名(13企業)、学：17名(4大学)、官：14名(7自治体)、民：6名）
- 目的：名古屋大学が提案するテーマ「ソーシャルナッジとトラストにより健康で生きがい満ちた社会を創造」に対し産学官民で共有・議論を行い、より具体的な内容に落としこむ
- プログラム概要：①話題提供（名古屋大学提案テーマ研究・実証内容の紹介）
②招待講演（テーマと関連する産学官民の取り組み紹介） ③グループ討議・全体発表 ④総評
- 当日の動画（関係者外秘）：3分版 URL(<https://youtu.be/-LdK6QcrGic>) 1分版 URL(https://youtu.be/03wx1_AiJnI)
- 結果：当日は、産学官の枠を超え、対等に楽しく活発な議論が交わされ、「相互理解と具体化（プロジェクト提案）」が出来た
- 次にやること：ワークショップでの気づきと出会い（ネットワーク）を自職場に持ち帰り、産学官民の具体的な連携を検討



総評



名古屋大学 副総長
未来社会創造機構 佐宗 章弘 機構長
WS前のご挨拶・激励

多様な方々にお集まりいただき感謝いたします。提供する側の産業界、自治体、なにより利益を享受する市民の目線などそれぞれの立場での参加しているワークショップです。どうやって社会をナッジ(行動変容の後押し)していきことがキーワードと思います。立場と意識の壁を取り払ってよい議論ができることを期待します。



ファシリテーター
名古屋大学 未来社会創造機構
吉川 正 特任准教授

ソーシャルナッジ(社会的に、そっと押すこと)やトラスト(信頼・信用)という概念的なキーワードに対し名古屋大学からの説明、関連する産学官民の取り組み紹介、ポテンシャルをもった皆様の熱量の高い中の議論によって、相互理解と具体化できたことに感謝いたします。本日のネットワークを大切にして、再びプロジェクトとしてお会いできることを楽しみにしております。



主催者
名古屋大学 医学系研究科
山本 美知郎 教授

難解なテーマに対し、このように熱いディスカッションをしていただき感謝いたします。かなり具体的なプロジェクトまで皆様の頭の中で出来ていたりして有意義な1日であったと思います。今回の出会い(ネットワーク)を大切にしていきたいことと、次回もチャンスがあれば開催していきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



プロジェクトリーダー
名古屋大学 未来社会創造機構
大山 慎太郎 准教授

まずは、カタカナが多い言葉に対する理解と議論、感謝いたします。男女差の話がよく出てきましたが、私たちの考えている差と、学生さんが思っている差に大分違いあると感じます。いまある男女差の背景は社会的なものがあると感じます。今後、社会が変わる意識をもっていただくことが重要と思います。つまりベースが変わることは、変えなければいけないモチベーションが大事で大学はそれを発想しチャレンジしていきます。

テーマ 1-3

③ 2025年度にむけて

基本活動項目の継続実施目標	KPI	特記事項
自治体の想いと連動したプロジェクトの企画・実施	3件以上	継続実施
研究エビデンス 論文・学会発表	6件以上	継続実施（目標値アップ）
ワークショップの開催	3件以上	テーマの磨き込みの為のワークショップを重点実施 ※一般的な展示会出展は行わない
健康講座の開催	6件以上	継続実施

重点実施項目目標	KPI	特記事項
外部資金獲得（学内内部資金含む）への挑戦	3件以上	大型プロジェクトへの挑戦
・賛同者集めの為の周知活動 ・コンソ会員へテーマ・役割確認	・メルマガ登録 50件以上 ・全会員	・コンソーシアムの活動を広く知っていただく 賛同者を集め、社会課題を皆で取り組み加速 ・会員の役割とメリットの再確認

第2回ミライバレーコンソーシアム総会(2025/4/17) 第5号議案 可決・承認済

✓産学官民に、コンソーシアムの活動を広く知っていただきたい

【方法】

ミライバレーコンソーシアムHPにてメルマガ登録していただく

【メルマガ登録で出来ること】

コンソーシアム活動内容・講座案内を受け取れる
コンソーシアム幹事からの情報発信を受け取れる

第2回ミライバレーコンソーシアム総会(2025/4/17) 第4号議案 可決・承認済

✓賛同者を集め、社会課題を皆で取り組み、加速したい

【方法】

ミラバレーコンソーシアム事務局に通常どおり、入会手続き申請を行う

※その際、お試し会員希望であることを連絡

【お試し会員で出来ること】

基本、通常の会員と同じ

※ただし総会の出席は不可（議決権なし）

【お試し会員入会后】

半年をめどに意見をいただき、不足部分を活動の改善につなげる

入会后、1年の間で会員への判断をしていただく

第2回ミライバレーコンソーシアム総会(2025/4/17) 第4号議案 可決・承認済

日付	項目（場所）	分類	内容
4月	第2回総会（名大）	報告 承認	役員の選任、規約改定等 24年度活動報告、25年度活動計画
6月	外部資金提案	提案	社会参加寿命延伸拠点 他
6月	メルマガ配信開始	発信	コンソーシアムの活動周知
7月	役割確認	確認	会員の役割とメリットの再確認（全会員）
9月	理事会（名大＋オンライン）	議論	25年度上期計画進捗、課題、下期計画への反映
臨時	理事会（名大＋オンライン）	審議	入会希望法人、個人への入会判断
定期	みらい健康ラボ（イオンリタケ、自治体）	講座	未来の健康について考えるイベント
随時	プロジェクト（自治体、施設等）	実証	マッチング時に都度個別契約し実証
3月	第3回 産学官民連携ワークショップ （名大）	検討会	地域活性化を産学官民で検討
3月	理事会（名大＋オンライン）	議論	25年度実績確認、26年度活動計画

第2回ミライバレーコンソーシアム総会(2025/4/17) 第5号議案 可決・承認済

・産学官民ワークショップ活動の協賛
・広報活動費
⇒ 予算を重点的に配分

ミライバレーコンソーシアム 2025 年度 予算計画			
自:2025/4/1 至:2026/3/31			
収入の部		(単位:円)	
項 目	No.	2025 年度予算	摘 要
コンソーシアム会費(2024年度 繰り越し分)	1	546,661	
コンソーシアム会費(No.3~4)	2	2,760,000	
2024年度継続会員分	3	2,760,000	法人会員 (大企業:4 社, その他企業:2 社)
2025年度新規会員分	4	0	随時計上
合計(No.1~2)	5	3,306,661	
支出の部		(単位:円)	
項 目	No.	2025年度予算	摘 要
Webドメイン・サーバー代金	6	30,330	発注済
2024年度会計報告書 作成	7	101,000	発注済
第2回 産官学民連携ワークショップ協賛	8	412,000	発注済
第3回 産官学民連携ワークショップ協賛	9	400,000	
名古屋大学への寄附	10	1,000,000	コンソーシアム環境整備費
Web HP 改修費	11	250,000	
広報活動費	12	500,000	
消耗品等	13	110,000	
合計(No.6~13)	14	2,803,330	
収入・支出の部		(単位:円)	
項 目	No.	2025 年度予算残高	摘 要
収支(No.5-14)	15	503,331	

第2回ミライバレーコンソーシアム総会
(2025/4/17) 第6号議案 可決・承認済

END